



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和2年6月12日(金) 第10号

教育
目
標

☆すすんで学ぶ子ども
☆思いやりのある子ども
☆ねばり強い子ども
☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



1つの教室で学ぶということ



日に何回か授業の様子等を参観していますが、その度に子どもたちの真剣に学ぶ姿や多様な考え・感じ方に感心しています。臨時休業後の円滑な学校の教育活動が推進できていますこと、保護者の皆様のご理解とご協力、励まし等の賜と感謝しております。誠にありがとうございます。今年度全面実施の新小学校学習指導要領で「主体的・対話的で深い学び」が重視されていますが、特に「深い学び」となるためには、他者の多様な考え方や感じ方等にふれる（対話的に学ぶ）ことが大事です。そのことで自分の考え等がさらに深まり、自他の考えのよさや級友と学び合うよさなどについても自覚できるものと思います。その際に大切になってくることは、まずは話を最後まで「受け止めて聞く」ことです。相手のことを理解しようとする心です。授業中、ときどき



担任がこんなことを子どもたちに投げかけます。「A 君の考えていること分かる?」「B さんの言いたいこと伝わった?」「C 君の言った気持ち分かる?」「D 君の考え代わりに言える?」このように、学びのコーディネートをすることで、相手を尊重することや他者理解、自分と違う感じ方を分かろうとすること等にもつながっていくように思います。1つの教室で学ぶということは、単に学習内容理解だけでなく、学びながら人としても日々成長していくということ、オンライン云々では難しい部分なのかなと感じます。



成功のとなり、失敗のとなり

プレイロットで自由に一輪車を操る子どもの姿を目にします。最近は2年生も上手に一輪車乗りを楽しんでいます。その姿を見るにつけ、この爽快感や浮遊感覚を得るために、何度も何度も挑戦し、時には倒れ、時には擦りむき・・・、その先に今の自由に操る一輪車乗りがあるのだなと感じます。思うようにいかず、途中でやめてしまっても、その後は手に入らないもの。一輪車や鉄棒、スキーなどの運動ばかりではなく、勉強も友達関係・人間関係もそう、たいていのことは、失敗のとなりにあるように思います。大事なものは、なりたい自分を想像すること・そのために努力を続けること・・・学校で「こうなりたいな! こうありたいな!」という夢や目標を大事にしている所以です。